

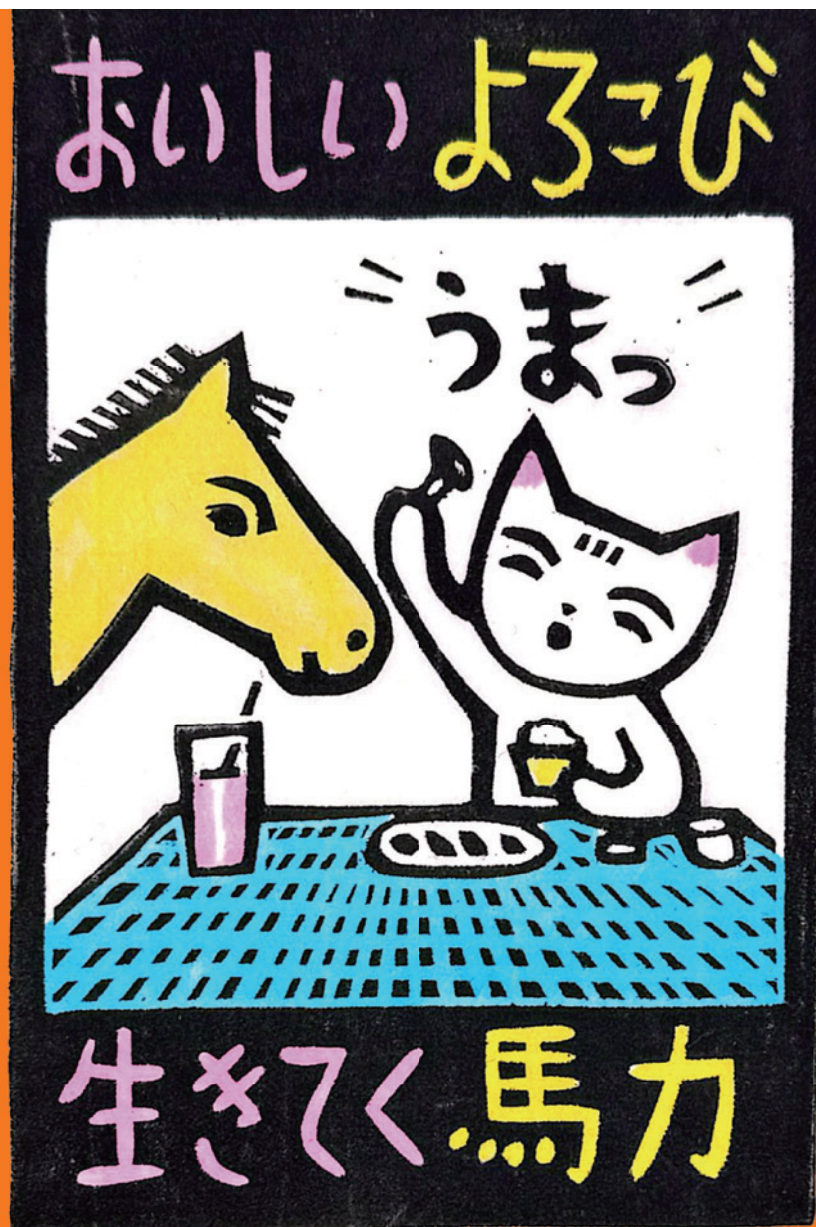


ららばい、通信

Lullaby News

2025年
秋号

特集 子守唄



画／大野隆司

[目 次]

- | | | | |
|----------------------|------------|------------------|-----------|
| ■ 唄のページ | …1 | ■ 藤村志保さんと子守唄 | 西館 好子 …14 |
| ■ 特集「子守唄」 | …2 | ■ 連載／日本子守唄紀行 | |
| ・子守唄は国境を越える | 相川 厚 | ねんねん猫のけつ（群馬県多野郡） | 鵜野 祐介 …16 |
| ・今こそ子守唄を | 大河原 敏雄 | | |
| ・子守唄 | 西館 好子 | ■ 連載 | |
| ■ COLUMN／子供真ん中社会への願い | 須賀 正二 …7 | 親友はいつまでも親友 | 帯津 良一 …18 |
| ■ 連載／わらべうた 童謡 詞華抄12 | | ■ 連載／直島便り | |
| 双六 兎角子共達 続 | 尾原 昭夫 …8 | 猫もストレッチ | 山根 光恵 …20 |
| ■ 連載／子ども虐待は、今 | | ■ 活動報告 | …21 |
| 新人児童福祉司研修ワークショップ | 川崎 二三彦 …12 | ■ 寄付者名簿 | |

唄の
ページ



おうち子守唄
井上 麻矢

お鼻も可愛いよ
お目々も可愛いよ
お口はもつと可愛いよ
お耳も可愛いよ、歯も可愛い



親子の歌だけ子守唄がある。
どこには子への愛情が歌い手の気持ちに表れている。
西館好子

令和7年
ららばい通信 秋号を
お手元にお届けさせていただきます。

猛暑を超えて命に危険な暑さ、線状降水帯など聞きなれなかった言葉が日常になり、何かが起こるのでは、と口の端に不安がよぎる今夏、もうとつくに異常は起きていると実感、秋が待たれるでなく、秋が日本から消えていくのではないかと毎日空を見上げています。やとと鱗雲が顔を出し、トンボが舞い始め、虫たちは悲鳴のように泣き出しました。

だから秋はきつと来るのです。しかし彼岸過ぎたらもう秋、盆明けは土用波が立つから海水浴はしないといったその時期ならではの、お話は通用しなくなりそうです。

思い出というお話には必ず時期という時間があり、秋の運動会は日差しも強い中で運動し、夕方になると突然冷たい風が吹き、夕焼けを見ながら母と手をぶらぶらさせて帰った思い出は悲しいくらい強烈に今も心に残っています。つまり思い出の向こうにいつも季節が微笑んでいると思っていたのに、それがあやふやになつてきた時代にどう対処していったらいいのか。残暑のかけらもないし、秋冷の候、もなんか空々しくて書くことができません。季節の挨拶の出来ないのは情感の育ちようもありません。おかしくなった人が多くなってきたのも季節にけじめがないからかもしれない、寂しい思いをしています。夏は酷暑、冬は厳寒だけの日本にだけはなつてほしくありません。



日本子守唄協会 理事長 西館好子



シリーズ 替女―祈り⑥

「指」

国見 修二（詩人）

三十六年ぶりに里帰りして
お地蔵さまの頭にふれた
大小のお地蔵さまが迎えてくれた

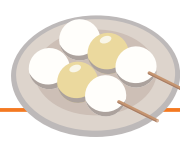
時間が渦巻となって指の感覚を鋭くした
夕焼けと心の色がぶつかり合つて
風景が静止した

お地蔵さまの眼は濡れていたか
替女の眼は濡れていたか
誰も知らない

小林ハル祈る
詩集『替女―祈り』より



新潟県三条市の
小林ハル実家近くにあるお地蔵さま



子守唄



子守唄は国境を越える

日本子守唄協会理事

相川 厚



赤ちゃんは聞きなれない外国の子守唄でも
反応してリラクセスする。

非常に参考になる子守唄に関する論文に出会ったので、皆さんにご紹介したいと思います。

子守唄は言葉がわからなくても、そのリズムや音調で、ぐずった子どもを穏やかにしたり、眠りしたりする効果があるのか、興味があるところです。それをハーバード大学の精神科のConstance M. Bainbridge先生を中心に乳児を対象に実験をして、上記の効果を科学的に証明しました¹⁾。

【方法】

アメリカのボストン周辺で満期で生まれた平均7・2か月(2・1〜14・3か月)の144人(女性72人、男性72人)の赤ちゃんを対象にしました。15曲の異なった地域、言語で作られたNatural History of

Song Discographyから

16曲を聞かせる曲として選び、8曲は子守唄で、残りの8曲は子守唄ではなく、愛情を表現する歌(5曲)、癒す歌(2曲)、ダンスの歌(1曲)でした(表1)。曲は歌声だけで楽器は使わず、赤ちゃんとなるべく同じ性の歌手に合わせました。赤ちゃんは自分と同じ性の歌声に感受性が高いからです。

口を動かして歌う赤と青のアニメのキャラクターを作成して、最初に2つのキャラクターが沈黙した状態で登場し、子守唄(lullaby)と子守唄(not lullaby)でない曲をそれぞれのキャラクターが沈黙の画面を挟んで4曲ずつ歌い、5分間のアニメを見せて、反応を観察しました(図1)。キャラクターが歌う時はそのキャラクターだけが画面に出るようにアニメを作成しました。

子守唄			ベアになっている子守唄でない曲		
性別	地域	言語	曲のタイプ	地域	言語
女性	スカンジナビア	サアミ	愛	ロシア、シベリア北西部	ツンドラネツ
	マヤ	西ナワトル	愛	ヨーロッパ南東部	セルビア
	北極圏及びその周辺	西カナダヌイット	ダンス	エクアドル北部	チャチバラア
男性	中央アメリカ	ボーダー・クーナ	愛	ヘブリディーズ諸島	スコットランド・ゲール
	東部ウッドランド	チェロキー	愛	中東	クルド
	アリゾナ	ホビ	癒し	ポリネシア	ハワイアン
	アルゼンチン南部、チリ	セルクナム	愛	ミクロネシア	チューク
	ヘブリディーズ諸島	スコットランド・ゲール	癒し	メキシコ北部	セリ

表1 赤ちゃんが聞いた歌 (Table 1を翻訳して改変)

乳児は背の高い椅子(62人)やリクライニングシート(57人)に座り、または両親の膝の上(25人)に座った状態で観察しました。椅子やリクライニングに座った場合は両親がその後ろにいるようにしました。両親は目を閉じた状態で何も聞こえないようにヘッドホンを装着して観察研究を行いました。

観察項目は心拍数、足の皮膚につけた電極による足の動き(electrodermal activity)ビデオによる瞳孔のサイズと動き、キャラクターへ凝視している時間とまばたきをビデオで観察しました。

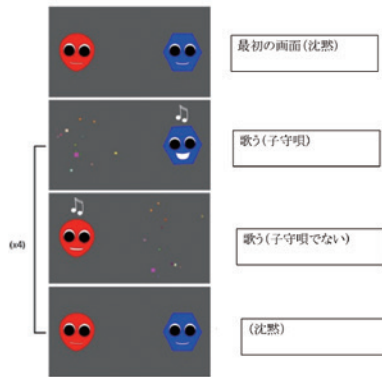


図1 赤と青のキャラクターが歌うアニメ(Fig.1を翻訳し、改変) それぞれのキャラクターが口を動かして子守唄と子守唄でない曲をそれぞれ歌い、赤ちゃんの反応を見る。

【結果】

心拍数は子守唄が始まるとすぐに減少して、子守唄でない曲を聴いた時と比べて、少なくなっていました(図2)。心拍数は乳児の年齢による違いはありませんでした。

瞳孔のサイズは子守唄を聞いた時のほうがは子守唄でない曲を聞いたときより小さくなることからわかりました(図3)。足につけた電極による足の動きは子守唄を聞いた時に、子守唄でない時に比べて減少していました(図4)。

凝視している時間は子守唄と子守唄でない時と変

わりはありませんでしたが、まばたきは子守唄の時のほうがわずかに少ないことがわかりました。

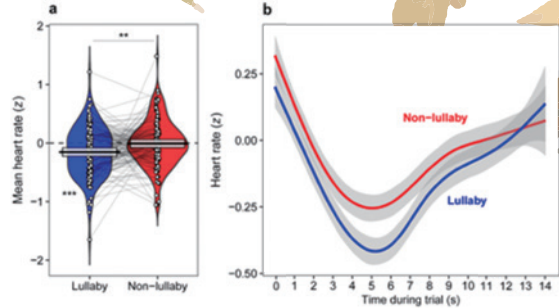


図3 瞳孔のサイズ(眼のサイズ比)z スコア (Fig.3) 瞳孔のサイズは子守唄を聞くと子守唄でない曲に比べ小さくなる。Pupil size relative to eye size (z) 瞳孔のサイズ(眼のサイズ比)z スコア Time during test(s)テスト開始からの時間(秒)

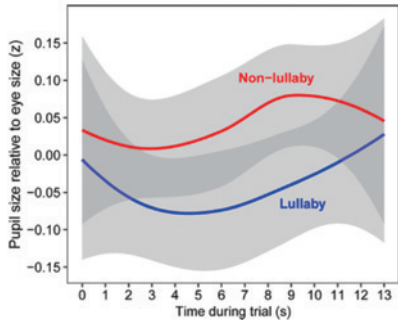


図2 心拍数(zスコア)の比較 (Fig.2) 赤ちゃんの心拍数は子守唄(lullaby)を聞くと子守唄でない時と比べて低下する。Mean heart rate平均心拍数、Heart rate心拍数、Time during test(s)テスト開始からの時間(秒)

【解説】

乳児への歌(infant-directed songs)は大人がそばにいて、寄り添い、安全を確保している情報を伝え、乳児に注意を向けているという合図なのです。子守唄は乳児への歌の典型的なものです。ダンスや癒しや愛の歌と違い、乳児をなだめるために歌います^{2,3)}。今までの多くの異なる方法を用いた研究で

「子守唄には乳児をなだめる効果がある。」と言う同じ結果が確認されています。子守唄はどの地域でも、異なる文化を越えて、スローテンポでスムーズで曲のアクセントが微小なのが特徴です⁴⁾。このスタイルが乳児を穏やかな気持ちにさせ、眠りに誘う作用があると言われています。

子守唄によって乳児は穏やかになることは常識ですが、今までは乳児が知っている曲で慣れ親しんだ言語の歌によって研究されていました。このような研究では子守唄自身が特異的に乳児を穏やかにさせる効果があるのか疑問が残ります。この研究ではこのバイアスを除くために、聞きなれない外国の言葉の子守唄、しかも親でないアニメのキャラクターが歌う子守唄と子守唄でない曲との反応の違いを観察しました。

心拍数の減少は子守唄で子守唄でない時に比べ、有意に減少しており、子守唄ではリラクセスする顕著な作用があることがわかりました。しかも心拍数の減少(リラクゼーション効果)は、生後2〜14か月の乳児すべてにおいて一定していたことが示されました。これは、乳児の音楽経験が急速に増える時期であるにもかかわらず、この効果がそれによって変化しなかったことを意味します。また、このリラクゼーション効果は、歌の「乳児向け度」の程度に応じて予測可能であったことがわかりました。つまり、各文化の子守唄には共通するスローテンポでスムーズで曲のアクセントが微小である音響的特徴があり、それが乳児の生理的反応(心拍数の低下など)を引き起こしていたということです。

瞳孔のサイズの減少および足の動きの少なさ、瞬きの少なさも乳児のリラクゼーション効果です。

聞きなれない外国の言葉の子守唄、しかも親でないアニメのキャラクターが歌う子守唄でも、子守唄でない曲を聞いた時と比べ乳児は反応して、明らかにリラクセスすることがわかりました。これは子守唄そのものが世界共通で乳児をリラクセスさせる作用があるということを証明しています。

この研究は、子守唄の生理的な効果が普遍的であり、特定の文化や音楽経験に依存しない可能性を示しています。さらに、こうした音楽的特徴が、親が乳児を落ち着かせるために自然と選ぶものであることも確認されました。

【子守唄のさらなる効果(私見)】

このように子守唄はどの国のものであっても、聞いたことのないどの言語によっても、そのメロディーだけで子どもをリラクセスさせる作用があることが科学的に証明されました。しかし子守唄は本来そのことにも愛情をそそいでいる両親や兄弟姉妹、そして祖父母が歌うものです。子どもは愛情を持っている相手や自分を大切に考えている相手の歌声や肌のぬくもりを敏感に感じ取り、本能的に心地よく、安全であることを認識するはず。これによって子守唄による子どものリラクセス効果はさらに増幅するのではないかと思います。さらに愛情を持っている両親から子守唄を聞くことが習慣になれば、両親と子どもの関係はおだやかで密になることは間違いありません。そのような信頼関係が親子間で成立すれば、虐待は起こらないはず。子守唄は子どもをあやす手段であるだけでなく、親と子どもの愛情をお互いに高めあう貴重なコミュニケーションの一つであると考えます。

今こそ子守唄を

元公立中学校長 大河原 敏雄

一.はじめに

現代はさまざまな音楽が流行っています。そんななか、子守唄やわらべうたが忘れ去られようとしているように思います。

五木の子守唄、中国地方の子守唄、島原の子守唄、…ブラームスの子守唄、シューベルトの子守唄、…。そんな子守唄を幼いころに聴いたとか、お母さんに歌ってもらったとかいう人はまだまだいるかもしれませんが、自分が、わが子に歌って寝かしつけている、あるいは寝かしつけたことがある人は、少ないのではないのでしょうか？

また、「わらべうた」はどうでしょう？

「かごめかごめ かごのなかの鳥は いついつ出やる」とか「勝つてうれしい はないちもんめ」というような遊びをしながら、わらべうたを歌ったことのある人はどのくらいいるのでしょうか？公園や空き地で「わらべうたで遊んでいる」風景はもう見られなくなってしまうのでしょうか？

今からもう四十五年ほど前、大学時代に訪れたヨーロッパの街角で、私は子どもたちが遊びながら歌を歌っている光景を目にしました。遊びながら歌っているのか？歌いながら遊んでいるのか？いずれにしても、遊びと歌が結びついていた。しかし、現代の日本では、昔のようなわらべうたは、もうほとんど聴かれません。

では…「里のみやげに 何もろた でんでん太鼓に 笙の笛」という最後の歌詞。このみやげは、誰がもらったものなのでしょうか？

まずは、「子守り奉公の娘が、赤ん坊の母親からもらった」という説。もしかしたら、子守りをしていた娘は休暇を取って帰省したのではなく「辞めて郷里に帰った」。親が病気なのか、結婚したのか、それはわかりません。「里のみやげ」は、里から持ち帰ったという意味ではなく「里へのみやげ」、つまり里に帰る時、坊やの母親は、最後の給金と、せめてもの心付けとして、「でんでん太鼓に、笙の笛」を、田舎で姉を待つ幼い弟妹たちへのおみやげに…と、持たせてやったのではないか。

もう一つは、子守り奉公の娘が、里帰りのおみやげとして「でんでん太鼓に 笙の笛」を持って帰ってきたという説。昔は「藪入り」といって、奉公人たちは年に二回、盆と正月に実家へ帰ることを許されていた。

しかし、そう考えるとここで疑問が湧きます。歌詞の中で坊やのお守りは里へ行っているのですが、それを歌っている母親は、なぜおみやげにでんでん太鼓と笙の笛をもらった。と、具体的に知っているのでしょうか？「里へ行行って帰ってきた。おみやげは太鼓と笛だった」とすべて過去のお話してみると自然な気もしますが、歌っているのは坊やの母親であり、親が「お守りは里へ行った」と子どもに伝えているということは、やっぱり「今、お守りがいない」状況をあらわしているわけです。

このあたりが、江戸子守唄に隠されたミステリーといっは大げさでしょうか？

わらべうたには、かくれんぼをやめて家に帰るときや、かごめかごめで鬼の周りを旋回するときに、音楽を遊びに結びつける性質のものがありません。あくまでも遊びが目的であり、音楽は遊びをより良くするための手段でした。

ところが、今の日本の子どもたちの遊びの中には、音楽が取り入れられています。友だちを遊びに誘うとき、「○○ちゃん遊びましょ」などと言っていたのが、今はインターフォンの普及によって、機械的なものになってきています。現代の子どもたちから、昔の良き音楽、良き遊びが消えてゆきつつあるように思えるのです。

子守唄、わらべうたを今こそ見直し、そこに隠された意味を子どもたちとともに考えながら、あのと見たヨーロッパでの光景を今の日本で復活させたいと考えています。

二.「五木の子守唄」に対する思い

この子守唄には、故郷を離れ、住み込みで子守の奉公をする「守り子」の辛い心情 悲哀が描かれています。私が小学校の頃は、よく歌ったものでした。ところが、歌詞にある「勧進」という言葉は「流浪の被差別民」という意味を持つため、被差別部落を扱った歌として、ある時期放送を禁止されました。しかし、差別を歌った歌だから歌うのを禁止する



四.「島原の子守唄」の悲しい歴史

ほとんどの子守唄は、その地方で歌い継がれてきたものですが、この「島原の子守唄」は、昭和三十三年に発表された歌謡曲です。作詞・作曲は宮崎康平さんです。

宮崎さんは一九一七年（大正六年）、今の長崎県島原市に生まれました。もともと目を患っていた宮崎さんは、島原鉄道で働いていましたが、過労により失明してしまいます。さらに経済的な不安などがたたり、妻は二人の子どもをおいて家出してしまったのです。

二人の子どもを目の見えない状態で育てる苦勞は、計り知れませんが、その頃に幼子に聴かせていた子守唄が「島原の子守唄」だったのです。

「おどみや島原の おどみや島原の 梨の木育ちよ」

わたしは島原の 梨の木のある貧乏な家で育った なんのナシだろう？ 色気もなにもナシですよ

ちよつとしゃれも効いたこの歌詞、私に価値はないから連れていかないでという気持ちで込められています。

泣かないで早く寝てね 鬼の池の怖いおじさんに連れていかれるよ

『島原の子守唄』は、「はよ寝ろ 泣かんで おろろんばい」とあやし言葉が入っていることから、寝させ唄です。しかし、主要なテーマになっているのは実は「からゆきさん」です。

明治時代、島原は貧しい家が多く、多くの娘が中国や東南アジアに身売りに出されました。その数は累計二十万人とも三十万人ともいわれます。

のではなく、なぜこの歌が差別を歌った歌なのかを考えられていくことが大切だと思うのです。

私は二十数年前、中学校の社会科の授業で「五木の子守唄」を取り上げ、差別について考えさせたことがあります。「在所」「帷子」「勧進」等の言葉を取り上げ、四民平等の世の中になってもまた差別は残っていることに気付かせていきました。現在でも、それらの風潮は根強く残っているということから、『橋のない川』を視聴し、身分差別を実感させました。

「臭いものには蓋をする」のではなく、「私たちはどうすれば良いのか」を子どもたちに考えさせていくことが、今の世の中に大切なことだと思っています。

三.「江戸子守唄」に隠されたミステリー

私が幼い頃、母親に歌ってもらった子守唄は「ねんねんころりよ おころりよ」という「江戸子守唄」だったような気がします。歌詞の最後に出てくる「でんでん太鼓に 笙の笛」というフレーズに、なにかもの悲しい気持ちになったことを、おぼろげながら思い出します。

以前、この唄を口ずさんでいるとき、いくつかの疑問が湧いてきました。

この歌は誰が歌っているのでしょうか？「坊やのお守り」は誰がしているのでしょうか？

普通に考えれば、子守奉公の娘が里帰りしてしまったので、実の母親が赤ん坊の子守りをしているということになります。この「江戸子守唄」は、子守り奉公の娘が戻ってくるのを待つ母親の立場から歌われたのでしょうか？

娘たちの運命は過酷でした。彼女たちは港へ連れていかれるのをとても恐れていました。

彼女たちはからゆきさんと呼ばれていました。幼いころからからゆきさんたちのことを見聞きしていた康平は、子守唄を歌っているうちに、自然にそうした話を歌詞に織り込んでいったのでしょう。『島原の子守唄』の寂しいメロディーは、からゆきさんたちの悲しい運命を歌うのにぴったりだったと感じます。

貧困が生み出した当時の悲しい史実、やもすると触れてはいけない避けて通りたくなる出来事です。子守唄をとおして、しっかりと後世に伝えていかなければならないことだと思えます。

五.終わりに

ブラームスやシューベルトの子守唄が、近代ヨーロッパの、豊かで幸福な家庭における子どもの子守唄であったのに対して、わが国の伝統的な子守唄に歌われているのは、封建時代の暗い陰々滅々とした世界です。

だから、豊かになった今日の日本には馴染まないもの、不要なものということなのか、現代の日本の若者たちは、短調のメロディーや悲哀のメロディーに関心を示さなくなったばかりか、子守唄のような日本の伝統的な旋律や唱歌が最近、音楽の教科書から消え去りつつあるように思えます。

しかし、今日、若者の凶悪犯罪は後を絶たず、大きな社会問題となっています。豊かで平和な社会を目指そうとすればこそ、伝統的な旋律や唱歌が訴え、物語る史実や心情を決して忘れてはならないと、つくづく思うのです。

子守唄 心のまま

自由に表現する人間讃歌

日本子守唄協会理事長

西館 好子

子守唄はどんな歌とも違うところがあります。言葉も操れず意味も音階も分からない幼児は自ら歌うことはできません。

子守唄はうたう側の一方的な唄なのです。 いわば歌う側のつぶやき・おもいのままに勝手に口を衝いて出てくる出た言葉を自分の節で歌います。

感情吐露の賜物と言えるでしょう。

しかし、さして意思を持たないこの唄が、人間の原点に刷り込まれる役目をしていることの意味は大きいと思います。

幼児にとっては歌が問題ではなく、母親の声や、発散するにおいや、しぐさ、すべての音と背景が無意識の中の記憶を留め、心地よく眠りにつくのです。

眠りにつかせてくれる信頼感は母親との原点となり、生涯を通しての人間関係の人間讃歌に繋がっていくからです。

そば来ると、ぶたれるけられる、こずかれるそんな乱暴な目に合えば幼児と言えども不信感と恐怖におびえます。虐待の本質は幼児期に人を信じるに至らなかったことに原因があると思います。

唄う側も思いのままとなれば日ごろのストレス発散、この顔を見れば自然に心が和み、母性の

慈愛がめばえてきます。無償の愛は自然発生的に出てくるとされています。

また、その愛こそ、自分の時間を差し出す行為そのものです。

子守唄の数は母親の数だけ存在します。

気候や風土、子育ての違い、言葉の違いで多種多様に変化しますが、この頃のように情報が一括同じという中では、特別変わった子守唄は少なくなっています。

それでも「ねんねんころりよおころりよ」と俗にいう江戸の子守唄はあまり知らないという人はいません。歌の伝播があったころにはこの唄は流行歌だったのです。そして私たちの血の中に流れているメロディー歌いやすく、覚えやすく、なお、伝えやすいという特色を持っています。

日本だけではなく、子守唄のない国はありません。どの国の歴史の中にも人間のために唄われる宝はあり、生まれた命はかけがえのない宝、丈夫に育ってほしいという祈りの讃歌、男にとっては、なしうる限りの命の保護者であるべきと思います。

と言って今も続く戦争や民族闘争の国では子守唄は歌えません。人間回復の熾烈な願い強烈な優しい自己表現である子守唄を歌い継いでいくことこそ大切な心の伝達、世界平和はこの唄にかかっているといつてもいいとさえ思います。

「家に居場所がなかった」と非行に走る子の共通の思いがあるとこを見るとよほどつまらない家庭に育ったのでしょうか。笑いや会話のない家庭、遊びもゆとりもない家族であれば心を閉ざしてしまうのは当然の成り行きだと目に見えます。

むしろ人間は家族だけでは生きられません。地域や他との付き合いで社会になじんでいくことも家族の延長線上になくってはならないはずです。むしろ、愛情という潤滑油があればの話ですが。

ここで改めて母親の役目の大きさを再認識したいと思っています。母親から大きさや笑顔が失われた家は舵のない船とおんなじなのではないのでしょうか。

どこを航海するのか、どこにたどり着くのか、乗り合わせた家族は右往左往、ついに難破家族となり、大海に放り出され支離滅裂となってしまうでしょう。

母はスカートをはいた政治家、家の支柱、家族の総統力の要、母港であるべきだ。

家庭はイコール母と同意語と結論付けたいと確信しています。

悲しい非行は母親の責任と言ったら怒られるだろうが、近代社会の価値観、道徳観、は日頃の勤労勤勉から培われたものであり、なんといっても母親の意志の力や体力はおろそかにはできないのです。居場所をなくしたら、母の懐にお戻りなさいと力強く言える女性のいる日本であってほしいと願うばかりです。

子守唄のCD・DVDの注文は
協会にお問い合わせ下さい
多数用意してあります



COLUMN

私と童謡

「子供真ん中社会への願い」

須賀 正二

今88歳です。

市議会議員、文化協会副会長を経て、今も童謡とのかかわりを深くしています。いや、ますます思いを深くしているかもしれません。

童謡を広める努力、人づくり、街づくりのために童謡に力を入れています。

なんといったって群馬は童謡の故郷です。作詞、作曲家も多く、「うさぎとかめ」の石原和三郎はみどり市出身の作詞家、「おうま」「うみ」の作詞家の林柳波は沼田市出身、「チューリップ」「こいのぼり」の作曲家井上武は前橋市、名作「紅葉」は安中市と名だたる人たちが群馬から出ています。詩人の橋本暮村は富岡市出身「土筆をつんで」という名詩を残していますが25歳という若さで夭折、なんと本居長世が作曲しています。

暮村を顕彰して市は、日本童謡協会が設定した童謡の日になんで、昭和63年から「かぶらの里童謡祭」を開催、今年も6月8日、36回目の開催をしました。新しい童謡づくりにはすでに16曲の童謡が誕生しています。

子供が遊び歌っている風景といいいものです。平和な感じがします。そんな日本があつて、外国から来た人は子供の樂園と日本を評価していました。

万葉歌人の山上憶良はこんな歌を詠みました。

「白、銀も金も玉もなにせむに優れる宝子にしかめやも」

どんなに優れた宝物でも子供には及ばないと謳いました。千の歳より子は宝、その成長と可能性こそ、何にも勝る宝物だ、ということですが。だからこそ、大人は大切に原石を磨くように大切に育てなくてはならないと、育てる姿勢も示唆しています。

しかし、この現代、子どもを取り巻く環境はどうでしょうか。

苛め、虐待、心の病、ひきこもりなどは増加の一途をたどり減る様子もありません。更に自殺願望の子どもの数は十代の二人に一人というという悲惨さです。

「死にたい」と子供たちが思うこと自体病んでいます。

つまり小峠もを大切にしていない社会を我々は作ってしまったのです。子どもはいつも大人たちや社会の真ん中に位置付けられているはずが、なんと「子供端っこ」社会になってしまっています。

何に原因があるのでしょうか。

人間の基本とされる命の讃歌という子守唄がおろそかになってしまった。母と子の最初の会話の始まりからくる信頼や優しさが喪失してしまっ

二つ目は、教育の中の点数や学力に集中している、徳育、何のために生まれ、皆と仲良く生きるためにどうしたらいいか、何を守ったらいいか、協調や作法や心のありようを教えてこなかった。道徳や知的な発想の創造性にかに大切かを教えていない。生きる意義や喜びを否定してしまった、教育の劣化は大きいと思います。

三つめはこれは母親教育でもあります。0歳児、おなかに宿って瞬間からの教えがない。人生は0歳からの旅立ち、命に向かつての教育がない。「その緒」の教えです。母親がストレスや餓えい

かんばかりの中にいれば子は健全に育つはずはありません。学歴と金とが目的になってしまう人生なんて何ら価値がないと、そろそろ気づかないと。

「子守唄」人生最初の教育が子守唄にある、母と子から始まることが原点です。

核家族になった、孤独になった、育児は苦労と人の限界、おしゃれができない、子育ての方法が分からない、理由はいっぱいあるけどねそれは果たして正当としていい物か。

子どものときに友と遊び、一緒に歌を歌い、心配事は相談しあひながら仲間と慰めあったり喜び合ったりの迅雷の時間があつたら、孤独になつたり、ただただ一人で苦しいという育児に悩んだりはしないのではないのでしょうか、子ども真ん中社会の構築にみんなが取りくめばいいと私は思います。

そんな中自然の下仁田に「母子の再構築の場を創ろうと築城した活動拠点として」助成村ねぎぼうず館」ができたことを童謡群馬県人として法外の喜びと誇りに感じています。



双六 風俗図(彦根屏風)
近世風俗図譜7遊女 小学館

とあり、平安後期の『鳥獸人物戯画』では、猿が双六盤を運び、瘦せ細った丸裸の男が「参った」といわんばかりの情景を見ることができると。さらに鎌倉時代では『平家物語』巻第一に、『賀茂河の水、双六の賽、山法師。是ぞわが心になかなはぬもの』と、白河院も仰せなりけるとかや。』といった記載があつて、古代・中世を通じて貴族から庶民まで、男女を問わず幅広く双六を楽しんでいたことは明確である。その情景をまずは二三の図版でご覧いただこう。



双六 西川祐信画
祐信画譜 江戸中期 筆者蔵



鳥獣人物戯画 双六 日本絵巻6 中央公論社



双六 花下遊楽図
近世風俗図誌2遊楽 小学館

双六
兎角子共達
続

わらべうた 童謡 詞華抄 12

わらべうた研究家 尾原 昭夫

双六の歴史

兎角子共達ハ莊氣ナガ能物、アイヤノボロイ、(中略)
正月ガラジャレバ
玉打ツ羽ツカウ、カルタ將基双六、
重力半モヨイ物、(略)

『鷺流狂言伝書』享保九年（一七二四）以前、鷺伝右衛門保教写

今回も狂言歌謡「兎角子共達」からの続き、「双六」について、その歴史的流れを、図版を多く取り入れつつ考察しておきたい。

ここにいう「双六」は「雙六」とも書き、また「本雙六」ともいい。今一般的に知られている紙の△絵双六▽ではなく、冒頭に揚げた絵にあるような△盤双六▽をさす。

「双六」の起源は天竺（印度）で、天竺では波羅塞戲といい、そこから、西へ欧羅巴に、東へ日本に渡った（『世界遊戲法大全』明治四〇年：一九〇七）とあり、名称の由来は、いわゆる「さいころ」の「骰子」（「采」「賽子」とも表記）の一から六までの数目のものを二つ使うことから来たものという。

わが国に渡来の時期は古く、飛鳥時代、推古朝（五九二く六二八）以前と推察され、『万葉集』巻第十六にも「一二の目のみにあらず五六三四さへあり雙六の采」の歌が載る。平安中期、清少納言の『枕草子』第一三四段にも「つれづれなぐさむもの。菖。双六。物語。」



双六 北尾重政画
青楼美人合姿鏡 安永5年 筆者蔵

双六の遊び方

双六盤は厚さ四寸、縦八寸、横一尺二寸（約一二センチ×二四センチ×三六センチ）のもので、盤面には、中央に細い空地を設け、長い辺の各々に罫線を引いて、一二の地をつくり、十二月を表す。相對する二人が持つ駒は象牙か牛の角または白黒石で、各十五個、計三十個。それは三十日をかたどるものとされる。

[illegible]

地の名称と最初の駒の配置 『世界遊戯法大全』博文館より

浄土双六(一)

柳亭種彦著 文政9年(1826)「還魂紙料」より



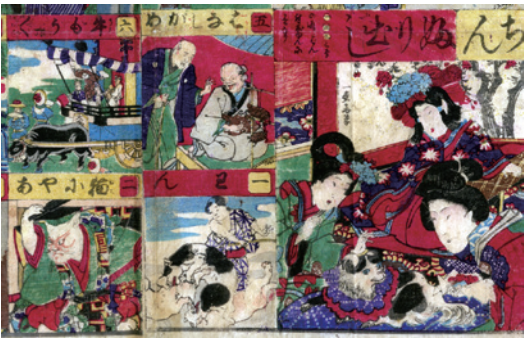
浄土双六(二)

柳亭種彦著「還魂紙料」より



散子を用いる。その目の出ようによって天堂に上り、地獄に墮ち、永沈といつて一度そこへ落ちれば出ることができないというような所へも行く。こうして初地から十地、等覺、妙覺を経て、佛に止まるを上りとする。

次にその図版の一部、続いて絵双六の比較の初期のものを例示する。



ちんわん節幼双六 (部分)

歌川芳幾画 明治 筆者蔵

子供あそび寿ご六 (部分)

橋本直義画 明治14年 筆者蔵



狐拳寿語録

明治25年 筆者蔵



道中双六 吾妻余波

明治18年 筆者蔵



「折端」は、「折葉」「下端」とも書く、簡略化された盤双六の一種である。おそらく、双六(本双六)の遊戯法がかなり複雑であるところから、庶民や子どもたちにも気軽に遊べるよう工夫したものではなからうか。すでに室町時代後期、天文年間(一五三二〜五五)の『尺素往来』に、「囲碁、将棋、雙六、下貽、揚弓」と、遊戯名の記載がある。

「折端」の遊び方

このように、遊び方としては、かなり複雑である。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

○相手の駒が二個以上入っている枡目には、自分の駒を進めることができない。

絵双六の発展

「絵双六」については、今さら説明の必要もないが、その初期のものには仏教色ゆたかな「浄土双六」であった。まず、用いる散子の表記から一般のものとは異なり、八南・無・分・身・諸・仏と刻まれた

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵

双六の大発展に変遷していくこととなる。

さて、双六は賭博としても行われたことから、古くは『日本書紀』の持統天皇三年(六六九)、また『続日本紀』の天平勝宝六年(七五四)に禁止された記録があり、古来しばしば禁止されて近世にまでおよび、江戸前期の慶長七年(一六〇二)、また寛文元年(一六六一)にも幕府は禁令を出している。こうした事情により双六は次第に衰退し、絵



折羽(おりは) 鮮斎永濯画

吾妻余波 明治18年 筆者蔵

連載 14

子ども虐待は、今

新人児童福祉司 研修ワークショップ

子どもの虹情報研修センター 川崎 二三彦

全国児童相談研究会

今を去ること50年、児相研(全国児童相談研究会)は、有志が自主開催した「児童相談所問題研究セミナー」をきっかけにして1975年2月に発足した。その時の呼びかけは、次のようなものであった。

*

児童相談所に働くわたしたちは、現在大変困難な状況に直面しています。毎日せわしなく働いているのに、それほど世の中の役に立っているという実感がもてずにいます。また、働いている仲間たちの生活や健康も守られているとはいえません。

「これでいいのだろうか」

「もっと自分たちの仕事を問い直してみよう」

そこで、このたびわたしたちは、児童相談所の問題を話し合うセミナーを計画しました。それは、①児童相談所に働く者が中心になり、そこ

で働くあらゆる職種の人が参加できるようにしたい。②働いている者が自主的に開催する。③単に、ぐちをこぼしあったり、情報を交換しあったりするだけではなく、現状をどう変えて行ったらいいのか、ということに結びつき、その方向や基本的な考え方を打出すことができるようにしたい。④子どもや、その周囲の人たち、児童相談所に働いている者たち、などがかかえているいろいろの問題を権利保障の立場からみなおす。という4つの原則を基本にしたいと思います。

*

1975年と言えば、私が大学を卒業して児童相談所で勤務を始めた年だが、改めて呼びかけを読んでもみると、何だか今とあまり変わらないような気もする。それはともかく、数年後、児相研の噂を聞きつけて参加してみると、悩む私の話に耳を傾け、サポートしてくれる先輩職員が全国各地にいて、大いに勇気づけられたので

あった。以来毎年欠かさず参加しているうちに、児相研の事務局長を仰せつかることとなった。10年間の事務局長の時代、児童福祉法等の改正時には、現場の声を届けるべく児相研の見解をまとめたり、会員に呼びかけて自費でカナダの児童福祉機関等を訪ねる海外研修を企画、会員相互の情報交換や交流に寄与すべく、当時トレンドとなっていたメーリングリストを作成し、組織名も「全国児童相談研究会(児相研)」に改名して、より幅広い方々が参加できるような工夫もした。

生みの苦しみ

もう一つ、新たに始めたのが、新人児童福祉司研修ワークショップである。とはいえ、児相研は会員も決して多いとは言えない小さな自主的研究会。ワークショップを開催するといっても、権威



第27回ワークショップから

もなければ財源もなく、専任スタッフも不在で、誰かが支援してくれるわけでもない。かろうじて、私が勤務していた児童相談所に無理を言って会議室を貸してもらい、週末の土日に実施したのであった。

ただし、ワークショップのアイデアを思いついたときは心が躍った。これこそ全国の経験浅い児童福祉司が求めているものに違いないという確信があったから。ところが、いざ走り出してみると、途端に眠れぬ日々となった。

「そうだ、忘れていた！ 児童福祉司ってのは悲しい人種なんだ。日々苦勞して、何とか少しでも力量を高めたと思っていても、いざ休みの日が来ると、もうそんなことはどうだっていい、家に帰って寝てるのが一番ついでだ。彼らは疲れすぎている！」

「大体、自分はどうしてこんなストレスを好きこのんで引き受けたんだ？ こんな企画を思いつきさえしなければ、今頃はゆつくり芝居でも観ているんだがなあ」

まさに生みの苦しみ。こんな不安が常に頭を離れなかったが、それは杞憂に終わった。案内を発送した翌日から次々電話が鳴り始めたのである。結局18名の定員を24名まで広げ、それでもお断りしなければならぬ方が何人もあった。

「笑えた。泣けた」

こうして開催にこぎつけたワークショップの第1回参加者が残した感想がある。

「他県の方がわかり、驚きと感心と……。自分の仕事をふりかえることができた」



第27回ワークショップから

「それぞれのプログラムのやり方、内容とも新鮮なものが多く、参加させていだいて本当に良かったと思います」

「笑えた。泣けた」

「面白かった。わくわくしました」

「人の考えは色々あり、当たり前なのにすごく不思議に思った」

「もうじき児相に来て1年になります。こんなふうでいいのか、他に方法はないのか、今後の見立てをどうするのか、悩みは尽きません。ときに“早く楽になりたい”、“もうやめたい”と思いつつここにきて、全国に同じように若くて経験なくて、迷いながらも懸命に働いている人が多くいることを知り、少し気持ちが楽になりました」

「文句一つありません。これであと10年は持ちます」

全国からやってきた参加者がめいめい帰路についた後の児童相談所は、再び日曜日の顔に戻り、それまでの熱気も活気も失われ、閑散とした雰囲気に戻りました。だが……、このワークショップは、多忙な業務の合間に、

全くのボランティアで案内状を作り、発送し、宿泊施設も予約して参加者を迎える準備を整え、資料も揃えて、自ら講義や演習も行った。とはいえ、海のものとも山のものとも分らないワークショップに、案内状1枚を頼りに全国各地から参加する人がいて、誰もがこもこも感激して地元に戻っていったのである。誰もいなくなった会議室で、私は自然と湧き上がる喜びをひしひしと感じたのであった。

そして思う。対人援助の醍醐味とは、結局のところ、目の前の人と真剣に向かい合うことで、些細なことであっても、その人が何かに気づき、変化が生まれ、前向きに生きる気持ちが育まれる、そんな瞬間に立ち会うことなんだと。

今も続くワークショップ

こうして始まったワークショップも、毎夏恒例で開かれるようになり、気づくと今年で27回目。今では、毎年百人以上の申し込みがあり、定員を拡大してもお断りするのに苦勞しなければならぬ状況になった。スタッフは私の後輩と言っていい人たちがばかりとなり、やはりボランティア精神で全てを段取りしてくれている。そして、猛暑に負けず今年も大いに盛り上がり、参加者はそれぞれの学びを胸に、別れを惜しんで地元に戻って行ったのであった。付け加えれば、第1回に参加して「これであと10年は持ちます」と述べた方は、今ではスタッフの欠かせぬ一員となってワークショップの充実に貢献されている。このようにしてワークショップは続き、今も貴重な人材が育っているのであった。

藤村志保さんと子守唄

西館 好子

6月12日長い闘病の末親友の藤村志保さんが亡くなりました。

美しいままの志保さんに対面したのは15日、ご自分で用意されていた死装束の綸子の着物はお母さまと同じに「旅たちの日に」と自筆で畳紙にしたためてありました。髪を整え、化粧を施すと今にも舞いそうな生き生きとした身支度で、そばにいらしたご主人の静永さんが「おい、そんなにきれいにして、一人でどこに行くんだよ」という声が本当に寂しそうでした。

志保さんとは35年余りのお付き合いになるでしょうか。

私の離婚直後、NHKで番組審議委員にして頂いた折、同じに藤村さんと当時悠木千帆を名乗っていた樹木希林さんも委員でいた時からです。

映画では楚々たる日本の風情を出す女優さんで有名でした。大映の看板女優、勝新太郎さんや市川雷蔵さんの相手役としても無くてはならない女優さんでした。

ある時、私を娘のように可愛がってくださいだったNHK元専務理事の野村忠夫さんから藤村さんと食事をしようとお誘いを受けました。新橋の料亭でした。同席なさったのは当時民放連会長の中川順さんを交えての会食でした。着物姿にベントスを運転して現れた志保さんは、画面からの印象とはかけ離れてシャキシャキものをいう活発な女性でした。



話の中で血液型の話題になり、野村専務と私がO型、中川会長と志保さんがB型、その日のうちに「OB会」を創ろうということになり、一か月に一度美味しい物を食べる会と遊び半分の結束ができました。同じころに私は日本子守唄協会を設立し、理事長が小児病院の小林登教授でした。

たまたま私が富山に旅行中、女子医大の腎臓移植の権威太田和夫さんが学会で富山にいらして、閉館まじかの文化施設を見学にいらしていました。そこに居合わせた私との会話で小林登さんが東大の同級生であると知り、では東京で食事をしようという約束しました。太田先生は藤村さんをお連れ下さいました。

腎移植を題材にした作品で藤村さんは「ポーラ伝統文化賞」を受賞、その指導に当たったのが太田先生だったのです。

そんな縁が重なり、太田先生は当協会の副理事長に、志保さんとは頻繁に会う機会が増え、とうとう理事に就任してくださいました。

縁というつながりは本当に面白く不思議なものです。

藤村さんはどんな子守唄にのめっていました。会にも参加して下さり、朗読やDVDも出演、いづれも無料出演、東日本大震災では湯川れい子さんと三人で被災地を慰問、「三婆トリオ」で回りました。旅では聞かれない話もたくさん聞かせていただきました。あの頃はみんな若かったと今に思っています。ジーンズでベントスに乗り、東京の町のあちこちからミルクを集めて運んでくださったのも志保さんです。

子守唄の会では多くの方たちから名刺を下さいと言われても、「これは私の仕事ではありません。子守唄協会の一員ですから、好子さんからもらってください」と毅然と断る人でした。この仕事への姿勢は「お行儀のいいこと」の一つとして雷蔵さんから教わったということでした。着物の着方は勝さんから全部教わったということです。

「子守唄」・・・志保さんの子守唄は「ほっほっほっほっほい あつちの水は甘いぞ あつちの水は辛いぞ」という唄でした。

戦争で父親を亡くして未亡人となったお母さんは志保さんと妹さん二人と叔父さんを頼って生活していました。叔父さんはお父さん替わりで優しくしたそうです。

と言っても未亡人のお母さんはさまざまな苦労しながら子育てし、そのつらさや哀しさを多摩川の川辺で一人この歌を歌っていた姿が目に焼き付いていて離れないといっていました。あつちの親戚は優しいけど、こつちの親戚はつらく当たるといった風に志保さんは捉えていたようです。

お母さんは巣鴨で「田村」という料亭を開業し自立します。その姿を見て育った志保さんは、お母さんが守り本尊で私の手本といい、仕事をしつづけました。



「本当は地唄舞をしたかった」と言っていました。地唄舞の「武原はん」さんに後継者になつてと懇願され悩みましたが、結局、弟子を取る仕事はできないと諦めました。

ご主人の静永さんが意を介して国立劇場で「藤村志保の会」を開催、それは盛況でした。この何年間は背骨の手術から寝たきりになり、私は何日に一回、時に一日五回も電話で話すのが日課になってしまいました。

「大丈夫」「ダメ」とはじまる会話に波が始め、入院が頻繁になりました。

その間、樹木希林さんもなくなりました。最後に希林さんと志保さんと六本木で食事をしたのは震災前のことです。

嘘か誠か希林さんは全身癌と聞いて慰めてあげようと食事会をしましたでしたが「私は女優よ、癌もいろいろ脚色するのよ。それより、三人で島田陽子のうちに脅しに行かない、行ってよ」という提案を真顔でするのに笑ってしまいました。

内田裕也さんが島田さんと同棲していたことを希林さんは快く思っていなかったのでしょうか。

「やめなさいよ、」と藤村さん。私も同感。結局墓は私が立ててそこに監禁する、と結論付けた希林さん。青山墓地に大きな墓を創り絶対枯れない花で埋め尽くすと「造花だから当然」面白そうに話していました。その日の三人ともにすでに

晩年の風はきつかった時期にきていました。今思えばすでにほとんどの人があちらに旅立ち、「好子さん今どうしている」「志保さんのその定番の聞き方はもう直に聞くことはできませんが、思い出だけはさらにカラフルになってくるから不思議です。志保さんまた会えるから、ちょっと待っていてね。



第14回 「ねんねん猫のけつ」

(群馬県多野郡)

子守唄・わらべうた学会では、今年(二〇二五年)八月二・三日、夏の学校を開催した。会場は群馬県下仁田町の女性村ねぎぼうずで、同学会の会員や関心をお持ちの方が二〇数名参加された。上越新幹線のJR高崎駅から上信電鉄に乗り換えて、各駅停車で約一時間、世界遺産に登録された富岡製糸場の最寄り駅・上州富岡を経由して、終着駅が下仁田。そこからさらに西へ車で約一五分行った所に会場はあった。大自然に抱かれて、日本や世界の子守唄やわらべうたの起源や歴史、現状と未来について、共に学び、語らい、歌うのに相応しい場所だった。



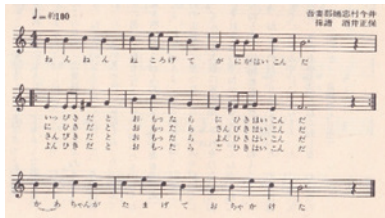
群馬県の伝承子守唄として有名なのが「ねんねん猫のけつ」である。尾原昭夫『日本子守唄集成』(柳原出版、二〇二二)では「猫と蟹」と題して尾原自身が多野郡で採録した版(多野版)が収められている。他に、酒井正保『日本わらべ歌全集5下 群馬のわらべ歌』(柳原書店、一九八七)には婦恋版、同じく酒井『上州の民謡とわらべうた』(煥乎堂、一九七五)には藤岡版がそれぞれ収載されている。

ねんねん猫のけつへ 蟹がはいこんだ
一匹だとおもったら 二匹はいこんだ
二匹だと思ったら 三匹はいこんだ
三匹だと思ったら 四匹はいこんだ
四匹だと思ったら 五匹はいこんだ

(尾原二〇二二:81)



ねんねんねころげて がにがはいこんだ
一匹だとおもったら 二匹はいこんだ
二匹だと思ったら 三匹はいこんだ
三匹だと思ったら 四匹はいこんだ
四匹だと思ったら 五匹はいこんだ
母ちゃんがたまげて お茶かけた
(酒井一九八七:191)



ねんねん猫のけつへ がにがへえ込んだ
一匹だと思ったら 二匹へえ込んだ
二匹だと思ったら 三匹へえ込んだ
三匹だと思ったら 四匹へえ込んだ
四匹だと思ったら 五匹へえ込んだ
おっかあやんがたまげて お茶ぶっかけた
あちかろう痛かろう ひっかきだしてやろう
(酒井一九七五:85)

その旋律は、「ねんねんころりよ おころりよ」ではじまる「江戸の子守唄」の類歌で、多野版が律音階で陽気であるのに対して、婦恋版は都節音階で陰りを帯びる(藤岡版は楽譜なし)。

類歌は福島、栃木、埼玉、千葉、東京など東日本各地に伝承されており、その起源や伝播経路などについては不詳だが、群馬におけるこの唄の流布には、明治から昭和前期にかけての主要産業であった養蚕と深く関わっているのではないかと私は考えている。酒井『上州の民謡とわらべうた』を主な手がかりとして、この唄の歴史的な社会背景に目を向けてみたい。

に、女の芸能があまりにも少ないのは、父権性社会であることを物語っている。機織仕事も機織唄も上州女の暗い生活のエレジーなのだ」(74・75)。

ただし、養蚕が中心にある暮らしにおいて豊かな唄文化が育まれた理由には苦しさの憂さ晴らしだけではない。「お蚕さま」と呼ばれ、信仰の対象となっていた蚕は、唄や音曲が大好きで、音楽をたくさん聞かせたら繭がたくさんできると考えられていた。特に、絹製の糸(弦)を張った三味線で口説節を演じる贅女(ぜいご)の唄は、お蚕さまの好物と見なされて、彼女たちはこぞつて養蚕農家に招かれた。幼虫のリズミカルな首の振り方には、音楽好きだと思わせるものが確かにある。幼い子もりが歌う子守唄も、お蚕さまが喜ぶからと奨励されていたのかもしれない。

もう一つ、お蚕さまが大好きだと見なされていたのが猫である。猫は、蚕を食い殺すネズミの天敵であり、養蚕農家ではしばしば猫が飼われた。富岡製糸場総合研究センターに問い合わせたところ、同製糸場で猫を飼育していたという記録は残っていないが、養蚕農家には守り神としての猫信仰があったとして、群馬県立歴史博物館開催の「新田猫絵展、再び」(二〇二一年七月〜九月)についてご紹介下さった。「本展では、「新田猫」とよばれる墨絵の猫を中心に展示します。「新田猫」は、新田岩松氏の歴代当主が四代にわたって描いた猫の絵で、ネズミ除けの効果が高く、養蚕の神様として信仰されました。また、錦絵に見る養蚕の風景、養蚕の守り神とされた各種の資料とあわせて紹介することで、群馬県の養蚕文化の一端に触れる機会とします」(開催概要より)。展示資料には「皇国養蚕図絵」(明治一八年)の錦絵があった。

こうしてみると、養蚕農家や製糸場の内外で暮らす子どもたちにとって猫は身近な存在であり、「ねんねん猫のけつへ 蟹がはいこんだ」という子守唄も違和感なく受け入れられたと思われる。それでもなお疑問は残る。どうして猫の尻穴に何匹も何匹も蟹が這い込むのか? 尾原(二〇二二)によれば、類歌では「蟹」の代わりに「火」(福島)、「蟻」(埼玉、東京)、「毛虫」(東京)が這い込み、一方、蟹が尻をハサミで挟むものもある(栃木、千葉)。「猿蟹合戦」のような動物寓話があったのだろうか? さらに調べてみたい。



親友はいつまでも親友



人生も後半となると、わが人生の来し方行く末に、時に思いを致すことがあるものです。そして、わが人生に色取りを添えて下さった人物のことをしみじみと想うこともあるものです。

これから紹介する、わが人生の親友であるK医師もそんな人物でした。じつは二人は同い年なのです。そして同じ外科医として、東京大学第三外科で切磋琢磨した仲なのです。まずは、そのあたりの経緯からお話ししましょう。私が東京大学医学部の学生として、文京区は本郷界限で暮らしたのは昭和30年代の前半。西暦にして1957年から1961年にかけてということになります。

じつにおだやかな日々で、天災といえば、1959年の9月26日に名古屋地方を襲った伊勢湾台風ぐらいのものでした。翌日、東京にやって来ましたが、風も雨もどちらかと言えば、それは静かなものでした。そんな日々を大好きな夏目漱石の『三四郎』よろしく、本号界限を歩き回ったものでした。いまでもなつかしく思い出すのは空手部の道場の七徳堂、東大正門前を少し入った処の

雀荘「池田屋」さん。真砂町のバー「それいゆ」と西片町のバー「フローラ」などでしょうか。

当時はまだインターン制度が敷かれていて、卒業後一年間のインターンを経て医師国家試験という仕組みになっていました。因みにインターンとは『広辞苑』によれば、

インターン(intrac)：医師、理容師、美容師などの志望者が修学後免許を得るための要件として職場で行う実習または実習生。日本では医師のインターンは1946年に導入。68年に廃止。とあります。それにしても随分短期間だったのですね。導入の理由、廃止の理由を是非伺いたいのですが、数少ない経験者に入ったのですから、貴重な御縁というものでしょう。

医師としての進路を、いつ決めるかは人それぞれですが、私はインターンの最中に決めました。まずは、自分は研究者や教育者には向いていないので、一介の町医者になろうと思いました。そして、一介の町医者なら一人で出来ることが多い方がよいということで外科を選び、三つの外科のなかで、最も肌合いの合いそうな東

京大学第三外科に入局することになりました。

ところが、入局三年目の初頭、教授から

「君は食道がんのチームに入って下さい」とのご託宣です。

「参ったなあ!」

と思いました。なぜかって、食道がんの手術といえば消化器がんの手術のなかではいちばん手のかかる手術です。一介の町医者にとっては無用の長物です。しかし、教授の意向には一切逆らえない時代です。そこで腹を決めました。

「よし!食道がん手術の名手になってやろう!」と。一介の町医者はしばらく置いておいて、食道がん手術まっしぐらです。

一方、K医師は信州大学の出身。私より一年遅れて東京大学第三外科に入局です。何時何処で遅れたのか、そしてなぜ他の大学から東京大学第三外科を選んだのかについては一切わかりません。また同じ医局でも一年遅いということもあって、それほど親しくしていたわけではありません。ただ彼が胃がんの手術の名手であることは知っていました。

そして、1975年と記憶していますが、東京都が都立駒込病院を東京都のがんセンターとしてスタートさせました。と同時に全国からスタッフを集めたのです。この時、私は静岡県のご立蒲原総合病院の外科医長を務めていて、そろそろ一介の町医者にと考え始めたところだったのです。

教授からの電話です。東京都が東京大学第三外科に食道がん手術の専門家と胃がんの手術の専門家を一人ずつ出して欲しいと要請して来たと言っています。そして、

「食道がんの専門家として、先生赴任してくださいませんか。……胃がんについてはK先生にお願いしました。」

と来たものです。今度は前回のように「参ったなあ!」とは思いませんでした。それどころがK医師も同行ということで、明るい未来を予感さえたものでした。

全国から馳せ参じた精鋭たちの作る場のエネルギーはきわめて高く、ここでの七年間は私の誇るべきキャリアの一つになりました。それにしてもK医師との交流が役買って出てくれたこともまちがいありません。趣味の点から見れば、K先生はテニスにゴルフ。私は麻雀と競馬とまったく合わないのですが、ことお酒に関しては見事に一致するのです。

生ビールの中ジョッキを1〜2杯にウィスキーか焼酎のロック3杯を90分かけて。というところがびたりと一致しますし、終始、笑顔とおだやかな語り口というのも同じです。酒席の

場のエネルギーの高さとなると太極拳の楊名時先生のそれには及びませんが、それは楊名時先生がすでに生と死の統合を果たしておられたのに、まだ50代だったK医師はまだ生と死の統合を果たしていないところに、その差があると思います。

ところが後年になって、生と死を統合していないK医師にも楊名時先生と同じ、

優しさとも言われぬダイナミズム。

が備わっていたことに気付いたのです。さらに間もなくして、それが彼の手術上手に起因することも直観で分かったのです。彼は駒込病院切つての手術上手でした。

苟も、人様の身体にメスを入れるのですから手術の下手な外科医はいません。働き盛りの20年選手ともなれば、皆さんきちんとした手術をするものです。反対に手術上手な外科医は常にあるパーセナージュ居るものです。その手術上手な医師の共通項が

優しさとも言われぬダイナミズム

なのです。いくら治療のためとはいえ、人様の身体にメスを入れるのですから、申し訳ないという気持ちになります。ここに優しさが生まれるのです。その上で、必要にして十分な操作を最短時間で行わなければなりません。ここに、えも言われぬダイナミズムが生まれるのです。

そんなこんなで、彼と二人で築いた、誇るべきキャリアでしたが、およそ7年後に私が郷里の川越市に中西医結合によるがん治療を旗印にかかげた病院を開設、同時に一県にある大病院の院長に彼が転出することによって一旦の終止

符が打たれました。それでも、時々酒席を共にして旧友をあたたためていたのですが、およそ30年前のある日、なんと彼が脳内出血で倒れたのです。

私が急を聞いて駆け付けた時は、彼は自分の病院の集中治療室に意識のないまま入院していました。彼はここに意識のないまま、一カ月以上入院していましたが、その間、うちの山田幸子総師長の車で何回も通いましたが、意思の疎通はまったくありませんでした。

先日、駒込病院の元同僚のS医師の計らいでK医師の奥さんがやって来て、三人で杯を酌み交わしましたが、久しぶりで顔も忘れかけていた彼女から優しさとも言われぬダイナミズムを感じたのはうれしかった。皆さん笑顔で再開を約束して別れたものでした。



帯津良一 プロフィール

1936年、埼玉県川越市に生まれる。東京大学医学部卒業、医学博士。東大医学部第三外科に入局し、その後都立駒込病院外科医長を経て1982年、川越市に帯津三敬病院を設立。2004年には、池袋に統合医学の拠点、帯津三敬塾クリニックを開設。
日本ホリスティック医学協会名誉会長。著書に「代替療法はなぜ効くのか?」「健康問答」など。その数は100冊を超える。

直島便り ③1

猫もストレッチ



南無庵 庵主 山根 光恵
山口県長門市出身
浄土真宗本願寺派 布教使



この原稿を書いている現在は、連日の猛暑日が続いているが、これほど暑くなる前の、ある日のこと。友達と福祉センターの町民プールへ水中歩行をしに行き、私は頑張つて25メートルを何往復もした。すると帰る頃になって、股関節に疲れを感じはじめたと同時に、少し歩きにくくなった。さらに翌日からは、左足のももからお尻にかけて、痛くて仕方ないくらいになってしまった。

日に日に痛みは増していき、とうとう足をひきずらないと歩けないような状態になった。そこで診療所に行ったら、痛み止めを処方された。だが、その痛み止めも少しでは効かず、次に行った時は倍の量を処方された。ユーチューブなども色々見たが、どうやら「坐骨神経痛」という症状らしい。

色々な人が、治るようにストレッチの方法などを教えてくれる。しかし、種類がありすぎて自分にはどれがいいのかからない。

様々なものを試しているうちに、何となく自分に合うストレッチが見つかってきて、それをしばらく続けてみた。実際、体の様々な部分を伸ばしてみると、気持ちが良いところもあるし、筋が縮こまっているのか、全然伸びないところもある。少しずつ、心地良いところと痛

いところと交互に混ぜながら、一日数回、気楽にやり続けることにした。加えてマッサージも受けて、「そこは痛い、そこは痛くない」など施術師と相談しながら続けてみた。そのうち薬やストレッチ、マッサージの効き目が出始めたのか、だんだん痛みが軽くなってきた。それから、なるべく体も動かすようにしていった。痛いからといって動かさないよりは、ひどく痛みが出ないかぎり、加減しながらでも少し動いたほうが、後で楽になるような気がしたからだ。

幸い、坐骨神経痛の症状は軽かったのか、痛みが無くなってきた。「よしよし」と思って、それから、医師のアドバイスも受けながら、痛みが少ない時はなるべく薬に頼らないようにして、薬を飲む時間の間隔を開けるようにした。そうこうしているうちに、気が付くと薬を飲まなくとも過ごせる日もできた。

この頃は暑いので、あまり動かず家に閉じこもってテレビを見たり、本を読んだりして過ごす日が続いているが、どうやら坐骨神経痛は治ったようだ。良かった。

ただ、一日中家で過ごしていると、一日の歩数があまりにも少ない。これでは健康に良くない、少しは歩かないと、と思い、朝早くか、夕方の日が陰った頃に、ほんの

ちよつとではあるけれど、家のまわりを歩いたり、ゆるい傾斜を降りた場所にある縁台まで出て、そこでくつろぐようにしている。

家の周りは草ぼうぼうだけれど、この暑さでは草取りもできない。そのため歩きづらいのだが、私はアスファルトやコンクリートより、草の上を歩くほうが好きだ。足元の草の感触や、夕方、海風が運んでくれる潮の匂いを味わうのが心地良い。

ある日、いつものように草むらに降りる傾斜を歩いていると、私がいつも座っている縁台に、何やら物が置いてあるように見える。何だろう？ と思いながら近づいていくと、猫が縁台で休んでいた。

猫は、目を私のほうに向けていた。この辺りでよく見る野良猫だった。いつもなら人の気配を感じると、すぐ飛び起きて逃げていくのに、私の顔を見てじっとしている。

私は、自分の敷地内の物には何でもすぐ声を掛ける。「何やつてるの？ 気持ち良い？」と声を掛けたが、猫はじっとしている。何だか不思議な姿だったし、逃げないので、持っていたスマホで写真を撮った。それでもまだじっとして、目だけは私を見ている。そこでもっと近づいたら、おもむろに立ち上がり、どこへともなく逃げていった。そして、先ほどまで猫の姿があったところに腰をおろしたら、何とも言えぬ温かさを感じた。友達に今撮った写真を送ったら返事がきて、「この猫 猫背が治ってるね」とのコメント。

写真をよく見ると、確かに猫背ではない。すっきりと背筋が伸びているのだ。

猫もこんなに背筋を伸ばすことができるんだ、私も負けないようにしっかりと背筋を伸ばそう。そう心に誓った(笑)。

合掌

活動報告

■7月

●6日(土)

富山子守唄フェスタ

主催：公益財団法人住友生命健康財団
協力後援：富山新聞社

久しぶりの富山。このご時世、子ども達を壇上に上げることができませんでしたが、暑い中子供連れの参加者が多く、もつともつとこんな会をつづけてほしいという声がたくさん聞かれました。

●11日(金)

講演会 並びに自然体験及び交流会

会場：安中市学習の森生涯学習センター
主催：里山の花畑 里の小屋友の会
後援：安中市、一般安中社団法人、安中市観光機構
協力：群馬県環境アドバイザー連絡協議会

●講演会

古庄弘枝(ノンフィクションライター)
13歳からの環境学

●体験学習

ゲンジ萤とヘイケ萤の競演鑑賞会
里山の花畑にて

●交流会

学習の森 つどいの間に



■8月

●2日(土)～3日(日)

こもり唄・わらべ歌学会2025年夏の学校

会場：女性村ねぎぼつ館

総計 20名

●一日目

基調報告 会長 鵜野祐介
ねぎぼつ館の取り組み 西館好子
ピアノ演奏 横谷和子
講演 尾原昭夫

こもりうた、わらべ歌の現代における意義
夜 下仁田館で懇親会

●二日目

ベトナムのこもりうたの自然感
TRAN THI NGOC QUI
こもりうた・わらべ歌と人形劇 尾崎富美子
お話 ぐんまの子守唄 須賀正二

●30(土)

詩を創ろう

詩をきいて皆で詩作しました。

■配食 毎月第二・第四、木曜日に行っています

暑さ、夏休みの季節とあって、飲み物が加わりました。
父子家庭、外国のお母さんが新しく加わりました。本当に困っている方、自立を目指して頑張っている方にきていただきたいと思います

訃報

鮫島純子さんの思い出

早いものです。

明治の大実業家、金融の父と言われた渋沢栄一氏の孫の鮫島純子さんが亡くなってから二年もたつのです。

私どもの松戸のサロンで講演会をして頂きその何か月後の訃報でびっくりいたしました。百歳におなりになり、記憶の中のおじい様の思い出は、会えばいつも頭をなで栄太樓館をくれたといったもの、日頃の健康法などのお話でした。

聞く方の興味はどうしても渋沢栄一といった歴史上の人物の事、質問にもさらりと笑顔で受け流されていました。

おじいさんというなつかしさを超えて明治という時代の一人の企業開拓者として冷静に捉え、お話しくださいました。

しかし、百歳と言えば一世紀生きてこられた鮫島さん自身も長い歴史をかくぐつていらした方、その記憶力と話術は 本当によどみなくさわやか、笑顔は堪えませんでした。

それに背筋を伸ばしたたずまいも、白髪も美しい知性にあふれていました。

とてもとてもご高齢を感じさせません。さらに驚嘆したのはヒールを履き、90分の長時間立ち通しであったことです。

日ごろの鍛錬、緊張の中で、生き抜いてきた方の矜持を感じました。

偉大な祖父の影はついて離れなかったはずですが、私は鮫島さんは家族や日常の細やかな心配りの暮らしを、本当に丁寧に、誰に恥じることなく毎日を重なる生き方を貫いたのだと感じました。私も日々緊張をもって生きようと老いの覚悟ができました。

日本子守唄協会 理事 剣持英子

応援がとうござい る方々

協会の活動にご協力くださいました皆様、ご寄付を有効に使わせて頂きます。
 これからも日本子守唄協会への応援をよろしくお願い申し上げます。温かな
 ご支援を本当にありがとうございます。

2025年4月1日から2025年9月17日現在 五十首順 匿名希望11名(敬称略)

- 「個人」
 青木健次
 青戸雅之
 青山 司
 麻生 智
 安倍昭恵
 阿部輝彦
 飯田清子
 井坂義雄
 石川千安希
 磯部裕子
 市川富夫・久美恵
 市崎美千子
 伊藤 守
 猪塚育代
 今井弘子
 今井要一
 上元弘子
 上原一美
 内山章子
 鶴野祐介
 梅田郁子
 江藤昭子
 近江千穂
 大川幸枝
 大河原尚夫
 大嶋孝造
 大島義吉
 大西義威
 大野純久
 大山加代子
 岡田詠美子
 岡本喜久穂
 小川正治
 中山邦子
 奥山糸子
 落合美知子
 小野泰洋
 尾原昭夫
 帯津良一
 温勢孝子
 春日宏美

加瀬博道
 片山雅文
 加藤恵子
 加藤さよ子
 神長倉万美子
 川北恭伸
 川下則子
 川田利夫
 神崎邦子
 蒲原節子
 神戸精一
 磯池博之
 菊池弥生
 北 美
 北出 広
 木下俊明
 木下由美子
 木邊円慈
 木村賢史
 木村ちひろ
 木村泰雄
 国見修二
 久良木恵子
 黒澤正明
 剣持英子
 鴻巣文明
 古川洋文
 児玉圭司
 後藤洋子
 小林ヒデ子
 小山啓子
 近藤純久
 近藤征治
 近藤美美子
 今野七重
 齊藤進也
 齊藤秀子
 酒井重美
 坂野美恵子
 坂元威佐
 佐藤久子
 佐藤久光
 佐藤 穰

佐藤洋詩恵
 里見哲夫
 眞田泰輔
 沢田茂子
 塩川治子
 清水睦夫
 白石源次郎
 神 秀俊
 新保 啓
 菅原芳徳
 杉西恭子
 杉野善彦
 杉本太郎一
 須崎晃一
 鈴木義広
 芹澤文子
 素野 悟
 田井二郎
 大小原久子
 高井京子
 高瀬得尋
 高田昌子
 高橋敏博
 高橋ヒロ子
 高橋素彦
 高原政子
 高松榮子
 竹内景哉
 竹内昌平
 竹之下典祥
 田島葉子
 田中厚子
 田中重子
 田中安子
 棚橋牧人
 棚橋美和子
 谷上昌賢
 玉井祥子
 千野千鶴子
 千葉 伝
 辻 容子
 常田純孝
 坪内まゆみ
 鶴 和義・聖子

徳永雅博
 泊 和男
 砥綿隆昌
 奈加靖子
 永田 亨
 中谷比佐子
 長縄千鶴子
 中根宏昭
 永野一昭
 永見徳代
 中山 隆
 西尾まき
 西川敏之
 西前幸子
 庭山正一郎
 則武清司
 橋本 昌
 初澤永子
 服部弘志
 馬場 妙
 原 昭 邦
 原田直之
 原田昌美
 平野俊興
 平野文興
 廣瀬俊之
 廣畑心香
 福井昌平
 福井典子
 福島昭子
 福田 孜
 福永教正
 藤井恵子
 藤澤 昇
 藤島寛昌
 藤田幸生
 藤田幸生
 藤間聖涼
 藤森久美子
 堀越教之
 本條秀太郎
 本多宏子
 増田善弘
 松崎マチ子

- 松代洋子
 松平静江
 黛 一子
 黛 治男
 丸山恒子
 三浦敏昭・美智代
 三浦眞澄
 三田村慶春
 宮崎壽子
 宮崎直子
 宮地勝美
 武藤元昭
 村井繁雄
 村田正巳
 もりいさむ
 森井照子
 盛田好一
 諸星京子
 安岡富士子
 きみさん
 柳沢真知子
 山浦敬子
 山浦 毅
- 山浦 衛
 山川 忠
 山川 敏
 山口 洋子
 山口秀甲
 山下五郎
 山元絵津子
 山本ヤエ子
 湯川れい子
 谷村啓子
 横島京子
 横井 勇
 吉田 春雄
 吉田 博
 吉永小百合
 米野宗禎
 脇田巧彦
 鷺巢 力



「団体」

- あたらしや旅館
 石田建材工業株式会社
 学校法人森学園
 株式会社大宅映子事務所
 株式会社カガヤ不動産
 株式会社ジェイ・ケイ・プラン
 株式会社上信観光バス
 株式会社佛蘭西屋
 株式会社ミールケア
 上信電鉄株式会社
 セカンドハーベスト・ジャパン
 全国わらべうたの会
 彫金ギヤラリー有限公司絵夢
 日本の宿 古窯
 長谷川トラストグループ株式会社
 柳橋 よし田

ご寄付の応援を お願いします！

日本子守唄協会の活動は、皆様からの
 ご寄付に支えられております。すべての子
 ども達が希望に満ちた未来をつかめるよ
 う、皆様のお気持ちの託された寄付金を、
 様々な活動にいかしてまいります。

ご寄付をいただきました皆様に小冊子
 「ららばい通信」、イベントのご案内、ま
 た活動報告をお送りさせていただきますま
 す。どうぞ時期や金額に関わらず、年間
 を通してご寄付をお願い申し上げます。
 ご寄付への詳細は、日本子守唄協会事務
 局までお問い合わせください。

【寄付振込先】

- みずほ銀行 浅草橋支店
 (普)1090012 トクヒ)日本子守唄協会
- 郵便振替口座 00150-3-575309

皆様からのお便り・ご投稿をお待ちしております。

◎子守唄について疑問に思うこと・知りたいこと、子育てについて思
 うこと、親子の思い出話などお送りください。思い出の写真など
 も募集しております。

◎あなたの町の地域活性化のための活動や育児支援活動、町ならではの
 の活動など紹介したい情報がございましたら、ぜひぜひお教えくださ
 い。「ららばい通信」を通じて地域の情報交換をしませんか？

◎皆様と共にららばい通信をより良いものにしていきたいと考えて
 おります。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

日本子守唄協会事務局 編集人・西館好子

〒125-0054
 東京都葛飾区高砂3-13-13 三浦ビル1階
 TEL 03-6458-0283
 FAX 03-6458-0284
 Eメール info@komoruta.jp
 URL https://www.komoruta.jp/



↑HPはこちら

ららばい通信ご入用の方は当協会にご連絡下さい。
 また、保存希望の施設や団体の方も合わせてお申込みくださいませ。